

1 単元名 「あき だいすき」

2 単元について

(1) 単元観

本単元は、学習指導要領の

- (5) 身近な自然を観察したり、季節や地域の行事に関わったりするなどの活動を通して、それらの違いや特徴を見付けることができ、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わること気付くとともに、それらを取り入れ自分の生活を楽しくしようとする。
- (6) 身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してつくることができ、その面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとする。

に基づいて設定したものである。

児童は、前単元の「なつとなかよし」において、身近な材料を使った水遊びやシャボン玉遊び、自分で育てたアサガオの花を使った押し花づくりやたたき染めなどに取り組んだ。身近な素材を工夫しながら色々な遊びを体験することで、夏の面白さ・不思議さに気付くことができた。本単元では、学校の校庭や身近な場所での秋探しから、諸感覚を使って繰り返し自然と触れ合うことで、秋の良さを十分に味わわせることをねらいとしている。見つけた秋の自然物を使って様々な活動に取り組むなかで、秋の特徴を捉え、四季の変化や季節によって生活の様子が変わること気付いていくと考える。

(2) 児童の実態

(省略)

(3) 指導観

本単元では、身の回りの秋の自然を見付ける活動を通して、春や夏の自然の様子との違いに気付いたり、気付きを自分の言葉で相手に伝えたりする力を身に付けることをねらいとしている。自然に触れ合う体験や四季の変化を楽しむ活動を繰り返し行ったり、気付いたことを動作や言葉をつかって伝え合ったりすることで、それぞれの諸感覚を磨き、気付きの質を高められると考える。

「むしと なかよく なろう」では、夏に見られなかった虫を校庭に探しに行く活動をする。自分たちが捕まえた虫の世話や観察を通して、生き物に親しみをもたせていく。さらに、「さいばいたねや みに なったね」では、春から育てたアサガオの種取りやフウセンカズラの種取りを通して、秋になると多くの植物が実をつけることに気付くとともに、成長の過程や喜びを感じられるようにする。

本小単元「あきを みつけよう」では、身の回りの秋を見付ける活動を通して、季節の変化を感じ、見付けた秋の自然物を使つて的あてやどんぐりゴマなどのおもちゃを作つて遊んだり、作品作りをしたりすることで秋の面白さや不思議さに気付かせていく。

はじめに、教科書や本、ICTなどを活用して、秋のイメージを広げる活動をする。町の行事や風景を思い起こさせることで、自然物だけでなく、自分の生活のなかにも季節の変化を感じられることに気付かせる。また、導入時に「あきずかんをつくろう」という目標を立ててから活動に取り組むことで、児童自身が目的をもち、進んで活動に取り組むことができるようにする。

次に、校庭で秋を見付ける活動を行う。秋を見付ける活動を通して、自然のなかの秋から、色や音、触り心地などを諸感覚を使って楽しみながら秋を感じられるようにしていく。意見の共有や活動の記録を行う場面では、1人1台端末を活用することで、児童が季節の変化や秋の自然物の特徴を視覚的に捉えることができるようにする。また、教室の中に「秋はっけんコーナー」をつくり、児童が発見した秋の自然物や秋に関係する本を常設しておくことで、秋の自然物の特徴を確かめることができるようにする。見付けた秋の自然物についてまとめる場面では、一人一人が諸感覚を使って感じ取った気付きを写真とともにワークシートに記録し、全員のワークシートを1冊にまとめて「あきずかん」を作る。実物に触れたり本や写真を見たりすることで、気付いたことを言葉で書くことができるようにする。また、どのようなことに注目すれば良いかがわかるように、視覚や聴覚など、感じとってほしい視点を予めわかりやすいイラストで示しておく。

最後に、見付けた秋の特徴を生かしたおもちゃ作りや飾り作りへとつなげていく。おもちゃや飾りを作る活動を通して、自分なりに工夫したり、友だちと一緒に遊ぶ楽しさを味わったりさせる。

3 単元の目標

- ・見付けた虫を飼う活動を通して、虫の様子に関心をもって働きかけることができ、それらが生命をもっていることに気付き、愛着をもって世話をしようとすることができる。

(知識及び技能の基礎)

- ・秋の身近な自然と触れ合ったり、地域の行事にかかわったりする活動を通して、秋の特徴を見付けることができ、四季の変化によって生活が変わっていくことに気付くとともに、それらを取り入れ自分の生活を楽しくしようとするすることができる。

(思考力、判断力、表現力等の基礎)

- ・植物の種取りや野菜を収穫する活動を通して、植物の変化や成長に関心をもって働きかけることができ、植物への親しみをもち、これからも大切にしようとする。

(学びに向かう力、人間性等)

4 指導と評価の計画

単元 「あき だいすき」

総時数 35時間

小単元「むしと なかよく なろう」

9時間

小単元「さいばい たねや みに なったね」

7時間

小単元「あきを みつけよう」

8時間扱い（本時7／8）

時配	学習内容と学習活動	評価規準（観点）【方法】
1	- 夏の校庭の様子を思い出す。 - 秋の校庭では、どんな色やにおい、音が見つかるか話合う。	夏のころと自然の様子が違うことに気付いている。 （思）【観察・発言】
1	「秋だな」と思うことを話合う。 - もっと見附きたい秋について話合う。 「あきずかん」を作ることを知る。	秋になり、町や生活の様子が変わってきていることに気付いている。 （知・技）【観察・発言】
4	- 予想した色やにおい、音を校庭で見付ける。 - 校庭で秋の自然物を使って遊ぶ。 - 諸感覚を使って秋を見付け、タブレットで写真を撮る。	- 身近な秋を、諸感覚を使って見付けようとしている。 （思）【観察・記録】 - 見付けた秋で遊びながら、進んで秋を見付けようとしている。 （主）【観察・記録】 - 見付けた秋の様子を自分の言葉で表現している。 （思）【観察・発言・タブレット】
1 本時	- 撮影した写真やワークシートを使い、「あきずかん」を作成する。 - 学校の校庭で見付けた、木の実や葉っぱの様子を共有しながら、秋の特徴に気付く。	- 木の実や葉っぱには、いろいろな色や形、大きさに気付いている。 （知・技）【ワークシート・発言】 - 秋の特徴について、友達の考えを自分の気付きに生かしている。 （思）【ワークシート・発言】
1	- 見付けた木の実や葉っぱを使って、もっとしてみたいことを考え、ワークシートにまとめる。 - 図書室にある本を見ながら、考えを広げていく。	集めた木の実や葉っぱを使って、もっとしてみたいことを進んで考えようとしている。 （思）【ワークシート・発言】

小単元「たのしいね あきの あそび」

5時間

小単元「ようこそ あきの テーマパークへ」

6時間

5 本時の指導（7／8）

（1）目標

秋探しで見付けた自然物の特徴を「あきずかん」にまとめる活動を通して、発見した落ち葉や木の実の特徴に気付き、図鑑にまとめようとしている。

(2) 展開

時配	学習内容と学習活動	指導・支援 ○評価（観点）【方法】	資料
3	【見いだす】 1 本時の学習内容を知り、めあてを確認する。	・めあてを確認することで、今日の学習の見通しをもつことができるようにする。	
	じぶんがみつけたあきのようすを、「あきずかん」にまとめよう。		
5	2 見付けた秋の自然物や遊んだときの様子を全員で確認する。 〈見付けたもの〉 ・おちば ・どんぐり ・まつぼっくり ・おなもみ など	・色、形、音、触り心地などをキーワードとして示すことで、児童自身が気付きを表現しやすくなるようにする。 ・色、形、音、触り心地などの共通点やちがいに気付くことができるよう、事前に声掛けをする。	写真
17	【自分で取り組む】 3 見付けた秋の様子を、ワークシートにまとめ、「あきずかん」を作る。 〈視覚〉 ・まるいもの、よくころがるものがある。 ・ぎざぎざしたかたち。 ・あかいいろ、ちやいろのぶぶんがある。 〈聴覚〉 ・さわると「がさがさ」とおとがする。 〈嗅覚〉 ・いいにおいがするな。 〈触覚〉 ・ざらざらしているな。 ・なげたり、くっつけたりした。 ・「秋コーナー」にある自然物に触れ、気付いたことを確かめる。	・ワークシート上部にそれぞれの児童が撮影した写真、下部に気づきを記入する部分を印刷し、そのまま「あきずかん」として活用できるようにする。 ・「気付き」を記入する部分には、目、鼻、手などの諸感覚を表すイラストを入れることで、児童が気付きを記入しやすくなるようにする。 ・気付いたことを文章で表現できない児童には、児童自身の気付きを教師が聞き取り、簡単な言葉で表現できるように助言する。 ・秋の自然物の特徴に気付くことが難しい児童には、必要に応じて実物に触れてよいことを伝えることで、自分の気付きをその場で確かめることができるようにする。 ○木の実や葉っぱには、いろいろな色や形、大きさがあることに気付いている。 （知・技）【ワークシート・発言】	ワークシート 秋コーナー (秋の自然物)

		※木の実や葉っぱの特徴に気付くことができない児童には、本や写真を見てよいことを伝えたり、秋コーナーにある自然物を教師と一緒に確認したりすることで、それぞれの特徴や色や形の違いに気付くことができるようにする。	
1 0	【広げ深める】 4 グループごとに、作成した図鑑を見合う。	・図鑑を見て気付いたことを伝え合うことで、自分の見方とは異なった見方があることに気付けるようにする。また、友達の気付きを図鑑に書き加えてもよいことを伝える。 ○秋の特徴について、友達の考えを自分の気付きに生かしている。 (思・判・表)【ワークシート・発言】	ワークシート
1 0	【まとめあげる】 5 本時の活動の振り返りをするとともに、次時の活動について知る。 ・本時の振り返りカードを記入する。 ・見付けた秋を使って、次時以降の活動でどのようなことをしてみたいかを考える。	・本時の活動を通して分かったことや気付いたことを記入できるよう、声をかける。 ※振り返りを自分の言葉で表現することが難しい児童には、本時の学習で考えたことを教師と一緒に確かめることで、文に書き表せるようにする。 ・自分たちが見付けた秋の自然物の特徴を踏まえ、今後どのような遊びをしたいか、どのようなものを作りたいのかを考えられるようにする。	振り返りカード

(3) 板書計画

あき だいすき ㊟		みつけた あきのようすを 「あきずかん」にまとめよう。	
いろ	かたち	おと	てざわり
おちば	どんぐり	まつぼっくり	おなもみ
写真	写真	写真	写真
ふりかえり ・わかったこと ・これからやってみたいこと がんばりレベル (☺ ☺ ☺)			



★ふりかえりカード★

月 日 ()

○わかったこと



が、わかりました！

○これから、やってみたいこと



を、やってみたいです！

○がんばりレベル



.



.



★ふりかえりカード★

月 日 ()

○わかったこと



が、わかりました！

○これから、やってみたいこと



を、やってみたいです！

○がんばりレベル

